

津軽に笑いを届ける、1世紀の伝統をこ覧あれ

津軽半島中心に位置する穀倉地帯「中里町」と半島北端の漁業・観光の町「小泊村」が合併してできた町。「大地の恵みと海の幸 心ひとつに希望のまち」のキャッチフレーズどおり、米などの里の恵みから、イカ、マグロなど津軽海峡の恵みが存分に味わえます。地元出身の歌手・三上寛曰く「見えない音とにおい」を感じられる場所でもあります。

北津軽郡
〔なかどまりまち〕

中泊町

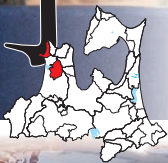
Nakadomari Machi



このまちの

うまいもん!

Food



ハトムギ

30年近く栽培している福浦営農組合のはとむぎは、農水省も認める固有の在来種。良質の国産品として栽培されるのは、日本ではこと岡山県だけ。



中泊のイカ

漁業が盛んな小泊地区では、マグロやメバルなど様々な海産物が獲れます。その代表格でもあるイカは、刺身はもちろん、スルメや塩辛など様々な加工品もあり、少し味が濃いめの「のしいカ」は、お酒のお供にオススメです。

Topics

ぶらり立ち寄りスポット

金多豆蔵 人形芝居

津軽に1世紀に渡って相伝されてきた人形劇。戦争、娯楽嗜好の変化という時代の波を乗り越え、3代目木村巖の手によって今でも演じられています。

- 金多豆蔵人形劇場
- 定期公演/毎月第1土曜
- 間/0173-58-3573



特産物直売所「ピュア」

ブルーベリーやハトムギの加工品、地元農家が栽培した新鮮野菜類など多くの品々が店頭に並びます。館内には食堂もあり、休憩所としても最適。

■間/0173-57-5054

